

3類型	鉱工業品	通巻番号	2-20-012
地域資源名	竹炭	認定日	平成20年7月4日
地域	福島県田村市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

**事業名: 独特のかたちが織りなす炎のファンタジーがかもしたす高級竹炭の開発と販路開拓**

会社名: 有限会社 竹炭工芸都美

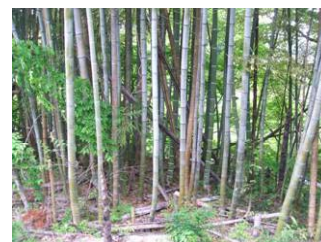
所在地: 福島県田村市都路町古道  
字山口149

連絡先: TEL: 0247-75-3466

H P: <http://www.chikutan-miyabi.com/>

**事業概要(新たな活用の視点)**

- ・旅館等で使用されている固形燃料に代わり、食卓を華やかに演出することが可能な燃料を大小の円柱の竹炭を組み合わせた「華炭」を開発。
- ・木炭と異なり、厚みのない竹炭を崩さずに焼く技術と、円柱に組み合わせるという着想は、独自に生み出したもので特許を取得。
- ・竹材の利・活用の低下から、竹が繁茂し竹害が問題視されており、これらの解消にも貢献。



【荒廃した竹林】

**売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)**

◆競争力

- ・「華炭」が燃える姿は一輪の花が咲いたかのように優雅で情緒があり、食卓に風情を求める高級旅館や料亭で優位性をもっている。
- ・竹炭の燃焼カロリーは木炭等に比べ、30%程度高く、遠赤外線効果が非常に大きいため、食材本来のうまさを引き出すことができる。

◆市場性

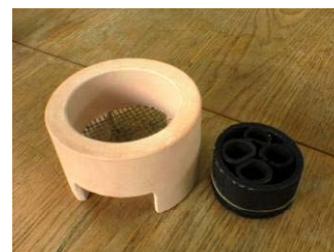
- ・本物志向を満足させるこだわりの一品として、高級旅館、料亭、こだわりを持つ家庭などをターゲットにニーズは高い。
- ・目で食すとも言われる日本料理を華やかに彩ることができ、こだわりを満足させることができ、木炭や固形燃料市場を代替する需要がある。

◆販路

- ・竹炭製品の特徴に高い評価を得ていることから、容易な着火方法の検討により高級感を求める層へ直販システムを確立していく。
- ・使用方法や調理方法、愛用者のアイデアを記載した冊子を製作し、販路拡大ツールとして使用していく。



【華炭 燃焼する様子】



【卓上で利用可能な専用台】

**地域資源における関係事業者との連携**

- ・基幹産業である地元林業との連携により、荒廃した竹林を改善し、共存共栄によるブランド化を図っていく。